

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 特 許 公 報 (B 1)

(11)特許番号

特許第3017486号  
(P3017486)

(45)発行日 平成12年3月6日(2000.3.6)

(24)登録日 平成11年12月24日(1999.12.24)

(51)Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	
C 0 1 B 13/10		C 0 1 B 13/10	A
B 0 1 F 1/00		B 0 1 F 1/00	A
	3/04	3/04	A

請求項の数4(全 11 頁)

(21)出願番号	特願平10-354160	(73)特許権者	598171634 田村 三郎 大阪府豊中市東豊中町4丁目5番33号
(22)出願日	平成10年12月14日(1998.12.14)	(72)発明者	田村 耕三 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式会社タムラテコ内
審査請求日	平成11年7月15日(1999.7.15)	(72)発明者	戒脇 登 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式会社タムラテコ内
		(72)発明者	杉本 行裕 大阪府東大阪市長田東2-1-27 株式会社タムラテコ内
		(74)代理人	100080746 弁理士 中谷 武嗣
		審査官	深澤 幹朗

最終頁に続く

(54)【発明の名称】 オゾン水発生装置

1

(57)【特許請求の範囲】

【請求項1】 電源53から電気回路を介して電気が供給されるオゾン発生体1にて生成されたオゾン、水に混合溶存させて、オゾン水を形成するオゾン水発生装置に於て、上記オゾン発生体1を複数個設けると共に、給水流量を検知するセンサ17を設け、さらに、該センサ17からの検出信号を受けて複数個の上記オゾン発生体1…に対応する上記電気回路をON・OFF制御する制御部58を設け、該制御部58が給水流量に応じて複数個の上記オゾン発生体1…を選択的にON・OFFしてオゾンの生成量を調整するように構成し、さらに、気水分離タンク12の内部に、複数個の上記オゾン発生体1…を配設して、上記タンク12内を流れるオゾン水にて各オゾン発生体1…を冷却するようにしたことを特徴とするオゾン水発生装置。

2

【請求項2】 電源53から電気回路を介して電気が供給されるオゾン発生体1にて生成されたオゾン、水に混合溶存させて、オゾン水を形成するオゾン水発生装置に於て、上記オゾン発生体1を複数個設けると共に、給水流量を検知するセンサ17を設け、さらに、該センサ17からの検出信号を受けて複数個の上記オゾン発生体1…に対応する上記電気回路をON・OFF制御する制御部58を設け、該制御部58が給水流量に応じて複数個の上記オゾン発生体1…を選択的にON・OFFしてオゾンの生成量を調整するように構成し、さらに、空気中の窒素を吸着して酸素を分離濃縮する一対の吸着槽59、59と、該各吸着槽59、59に連通連結されて濃縮酸素をオゾン発生体1…に送る濃縮酸素供給流路61と、各吸着槽59、59の該濃縮酸素供給流路61側を連通連結する連通流路62と、各吸着槽59、59に交互にエアーを供給するように切換え